

PRESS RELEASE



United Nations Development Programme

国連開発計画 (UNDP) 東京事務所

Tel: 03-5467-4751 Fax: 03-5467-4753 URL: <http://www.undp.or.jp>

UNDP 『アラブ人間開発報告書 2005』 発表

日本時間 12月7日 (木) 午後1時以降公表のこと

女性の地位は向上しつつあるも

アラブ諸国の繁栄と強化に貢献する可能性を十分発揮できずにいる

～ 『アラブ人間開発報告書 2005』 ～

ジェンダー平等に向けて進展は見られているが、

より広範で本格的な改革が必要である 本報告書より

2006年12月7日 サヌア、イエメン共和国

『アラブ人間開発報告書 2005：アラブ世界の女性の向上を目指して』によると、アラブ地域の女性は自らの可能性を十分に発揮することができず、引き続き機会均等の権利を奪われている。このことは単に女性だけの問題ではなく、アラブ社会全体の発展と繁栄の障害となっているという。

本報告は一部のアラブ諸国について、同地域で広く見られる根本的なジェンダー差別への対処は「大きく進歩的な変化を遂げている」と称賛している。しかし一方で、暴力的紛争に対して実質的な効果のない表面的な改革、外国による占領行為・テロリズムなど、公平な開発の妨げとなる障害の存在について言及している。こうした障害は本報告書が見出す、女性の地位向上のための有望な手がかりに暗い影を落とすものである。

2002年に初めて発表された『アラブ人間開発報告書』は、女性の無力化(disempowerment)を、アラブ諸国が再び商業・教育・文化の分野において世界の先進国を目指す上で障害となっている3つの不足項目のひとつに位置づけている。最初の報告書発行より4年が経過した今、アラブ女性に成功の機会を公平に与える必要性は明白なものとなり、開発の前提条件としてその重要性は高まっている。

『アラブ人間開発報告書』の作成を支援する国連開発計画(UNDP)の総裁、ケマル・デルビシュ氏は次のように述べている。「人間開発はただ経済的成長を求めているのではない。貧困との闘いは慈善活動ではなく、地位向上(エンパワーメント)という使命を持つ。これは世界で10億人いる貧困層の5分の3が女性と女の子であるという状況の中で、特に女性に向け

られる。女性が市民として、生産者として、姉妹として、そして母として社会に完全に参加し、地位を向上させることは、アラブ諸国の力の源になる。それとともに、アラブ世界が一層の繁栄と影響力を手にし、より高いレベルの人間開発を実現することを可能にする。」

シリーズ4作目で最後となる本報告書では、アラブ地域の女性の現状を検証し、特に健康、教育、政治参加に焦点を当てている。また女性の地位向上に対するアラブ社会の意欲を分析することによって、女性が実際に置かれている社会的地位を評価するとともに、アラブ諸国における男女平等を実現するためには、どのような社会的行動が必要なのかを特定している。

「アラブ世界の女性の勇気と積極的な活動を尊重することは、人間開発の促進を支持することでもある。ようやく手にされつつある女性の権利は、アラブ地域で女性の権利を求めて活動してきた多くの人々や政府協力者による、数十年にわたる取り組みが結実したものである」とUNDP アラブ地域局のアマット・アル・アリム・アルソスワ局長は述べる。

アラブの女性たちは国際法の下で平等な地位を保障されている。そして、さまざまな活動領域においてその才能を発揮して実績を残し、また家族や社会に対して極めて貴重な貢献をしているにもかかわらず、男性と同等に能力を伸ばしたり、活用したりする機会を与えられていない、と本報告書は主張している。市民生活や文化、法律、社会、経済そして政治におけるさまざまな要因が、女性の教育、医療、仕事を得る機会や国民としての権利、そして行政の代表となることを妨げていると断言している。個人の生活については、伝統的な育て方や差別的な家族法、個人身分法 (personal-status laws) によって、不平等と従属が永続化していると述べている。

文化面における女性の地位向上の根本的な障害は依然として、生産経済および国際的な合意において要求される基準と、伝統・慣習に基づいた基準との間に生じる矛盾にどのように対応するか、という点にあると本報告書は述べている。

さらに本報告書は、男女を問わず多くのアラブ市民にとって、開発の最大の障害は、『テロとの戦い』の名目で行われる外国による占領行為であるとし、「女性は外国の占領下で二重の苦しみに耐えている」と述べている。多くの場合、アラブ市民は生存権から公民権、国政参与権、経済的・社会的権利に至るまで、基本的権利と自由を侵害され続けている。

こうした悲観的な環境は、市民の自由・権利を制限するとともに、アラブ地域の占領に対する平和的で公正な解決策を見出す機会を妨げ、改革を阻害し、過激派によるテロ(本報告書では極めて断固とした言葉でこれを非難している)の恐怖とともに、アラブ世界の本格的な復興の望みを砕くものである。世界レベルで万人の安全保障や繁栄のために公平を保つ統治システムが存在しない中、このようなこう着状態の継続によりアラブ地域がより一層の過激主義、暴力的な抗議行動に進む恐れがある、と本報告書は論じている。

その一方で、今やアラブ諸国の大半には議会、内閣、地方議会があり、その中で少なくとも女性が一人以上参加する役割が与えられている。本報告書はこの成果を認めているが、「アラブ世界ではどのレベルにおいても、実質的な判断はすべて男性の手に委ねられている」とし、政治改革はすべての段階において、小手先の象徴的な改革ではなく、実質的なものでなくてはならないと警鐘する。

西側の目から見ると一概に悪意のある勢力と捉えられがちなイスラム運動であるが、実際は多くの場合、女性の地位向上に先陣的な役割を果たしてきていると本報告書は述べている。さらに、「この半世紀の間に、イスラム運動での活動および社会の流れの中で、そして極めて重要な社会問題、人権および適正なガバナンス・民主主義について、女性の立場は大きく進歩的な変化を遂げている」と解説している。

本報告書によると、主流派のイスラム運動の大半では、比較的若い世代の中で優れたリーダーシップの成長が顕著である。また、内部に民主主義の拡大という使命が草の根レベルで広がっている。しかし、こうした前向きな動きも、いったん権力を手にしたら女性の自由や民主主義を抑圧しかねない、アラブ社会の非主流派の動きを相殺するまでには至っていない。

楽観的な見方を支えるもうひとつの理由は、本報告書のために行われた世論調査の結果にある。調査では、現在の状況、そして女性の地位向上を阻害する社会的要因が存在することを想定した場合に比較して、確実にジェンダー平等の向上を望む声が幅広くあることが明らかになったのである。

女性にかかわる問題が知的・文化的な話題にますます浸透していくにつれ、アラブ世界内部でも変革が起きていると本報告書は認めている。「インターネットやチャットルーム、衛星放送とその専門番組などの現代のメディアは、開かれた市民対話や迅速なコミュニケーション、そして思想と実践のコミュニティへの参加を基本とする。女性にとって、こうしたメディアへのアクセスは自由への新たな道を切り開くものであり、従来の活字メディアを通しては入ることのできなかつた領域へと参入することができるようになる。」

現代のアラブ女性運動は、欧米から輸入された概念であると誤解されることが依然として非常に多いが、ジェンダー平等は元来、アラブ地域に深く根ざした考え方である。エジプトでは、女性の権利に対する意識向上を主目的のひとつとして、1881年に初めて「女性の教育団体」が誕生しており、1940年代には、植民地政策の下で女性組織結成の大きなうねりが起こっている。その大半は一夫多妻制や女性が教育を受ける権利といった問題に取り組むものであった。

本報告書では、アラブ世界における女性の地位向上のためには、まず、必要不可欠な健康と知識を男性と同等に手に入れる十分な機会をすべてのアラブ女性に与えなくてはならないとしている。そして次に、「男性と同等に、家庭以外のあらゆる領域の活動に参加できる最大限の機会をアラブ女性に与えなくてはならない」と結論付けている。

これまでの報告書で発表された、包括的で、権利を尊重した社会改革のための勧告に沿って、本報告書はアラブ女性の地位向上には次のことが伴うべきであるとしている。

- すべてのアラブ女性に対する公民権の全面的な尊重
- 個人的な関係や家族関係における女性の権利の保護
- 女性の人格権と自由の全面的尊重の保障

本報告書ではさらに、あらゆる人間活動へのアラブ女性の参加を拡大するために、一時的に優遇措置(affirmative action)を採用することも求めている。これによって、何世紀も続いた女性差別の古い構造が解体されることになるであろう。

女性の地位向上のためには、万人のための人間開発の実現を目指した、広範で効果的な運動がアラブの市民社会で行われることが必要であると本報告書は論じている。こうした運動は、アラブの女性や彼女たちを支援する男性が自らの地位を向上させるための手段になると主張している。そのためには次の二つの段階を踏む必要がある。まず、国内において社会のあらゆる層を巻き込むこと。そして地域において、女性の地位向上の取り組みを調整・支援する、国境を越えたネットワークを形成することである。

本件に関するお問い合わせ：

UNDP 東京事務所 三上 知佐(広報・市民社会担当官：03-5467-4751 chisa.mikami@undp.org)

アラブ人間開発報告書の詳細については下記ウェブサイトをご覧ください(英語)。

www.rbasundp.org

The United Nations Development Programme (UNDP) is the global development network of the United Nations. UNDP advocates for change and connects countries to knowledge, experience and resources to help people build a better life. We are on the ground in 166 countries, working with people on their own solutions to global and national development challenges.

国連開発計画(UNDP)は国連システムのグローバルな開発ネットワークとして、変革への啓蒙や啓発を行い、人々がよりよい生活を築けるよう、各国が知識や経験や資金にアクセスできるよう支援しています。われわれは、166カ国で活動を行い、各国の人々と共に、グローバルな課題や国内の課題に対し、それぞれの国に合った解決策が見出せるよう取り組んでいます。それぞれの国の能力強化にあたっては、UNDPのスタッフの知識や幅広い分野のパートナーシップが役立っています。